

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

『ジオパークとしての新提案』

今、地球上で人類の生活環境は大きく変化しています。「地球に寄り添い、人と支え合う」をテーマにしているMine秋吉台ジオパークに、何ができるのでしょうか。寄り添うこと、支え合うことの本質を考える良い機会なのかもしれません。まずは負けないこと。

『ジオ・エコ・ヒトと触れ合えるMine秋吉台ジオツアー』



『密を避けた出前授業』



『地域の歴史を聞きとり、記録』

その他のご要望もご相談ください。例えば…地域団体の研修、修学旅行、市民活動の応援など。

『地球に寄り添い、人と支え合う Mine秋吉台ジオパーク』

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会 0837-63-0055 / mine-geo@city.mine.lg.jp

NEWS

●報告1 Mine秋吉台ジオパーク推進協議会総会

7月10日（金）にMine秋吉台ジオパーク推進協議会第9回総会を開催しました。総会には、本協議会の委員等が出席し、昨年度の事業報告や今年度の活動方針、事業計画を審議しました。活動方針と合わせて、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた再申請を令和5年度に行うことを確認しました。



●報告2 世界ジオパーク推進課が教育委員会部局へ

8月1日（土）から、本協議会の事務局を担う市役所の世界ジオパーク推進課は、教育委員会事務局の所管となりました。今後、学校・社会教育でのジオパーク活動をさらに推進していきます。



本協議会
（世界ジオパーク推進）
新任の事務局長
ご挨拶

8月1日付の組織再編に伴い、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局長となりました八木下理香子と申します。この4月から人事交流で文部科学省から派遣され、美祢市教育委員会事務局でお世話になっています。

山登り、ハイキング、川遊びなど、もともとアウトドアが大好きなので、自然いっぱいの美祢市でジオパークに関わる仕事に携わることができてうれしいです。

自然や歴史、文化など美祢の魅力をもっと知り、発信していきたいです。よろしくお願ひします。

ジオパークでの子育て

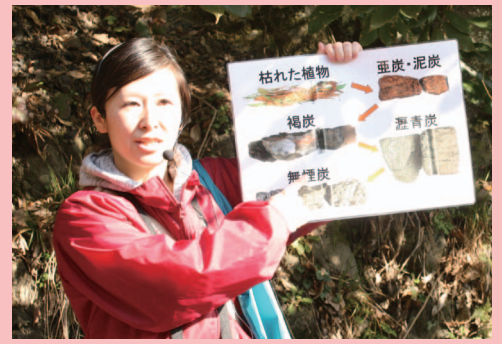
第4走者

認定ジオガイド 小原 小織



私がジオガイドの養成講座を受けたのは4年前。当時は、結婚を機に故郷の群馬から引っ越してきたばかりで、美祢市がどのような場所か知りたかったのです。また、学生時代に地球科学を学んでいたので単純に「ジオパーク」という名前が魅力的でした。

ガイド認定を受けてからも、ガイドとして美祢市の魅力を伝えよう+地球科学の楽しさも少しは伝えられたら良いな…というのが私の活動源でした。ジオパークに関わるようになったいきさつ、そして認定を受けてからしばらくの間、ほとんど「自分の興味・関心」で動いていたのです。



ところで、ジオパークとは何でしょうか？ジオパークという名称から「ジオパーク≒地球・地質」という印象を持つ方が多いのではないのでしょうか。先にお話したとおり、私も当初はそう思っていました。しかし、足を踏み入れてみると、まるで違いました。ジオパークは「持続可能な社会を目指す運動」でした。

以降、私の頭の中には、この「持続可能な社会」は、ぼんやり「？」として存在していました。しかし2年前、長男を出産したことで、世界が一変しました。カルスターに授乳室があったらなとも思いました(笑)が最も大きな変化は「次世代」を意識するようになったことです。息子がこれから生きる時代です。今まで教科書上の文字でしかなかった、「社会」という言葉が意味を持ち、一気に広がっていきました。これから生きる子たちの社会は、今よりもっと優しい世界、生きやすい世界であってほしいと願うようになりました。ジオパークに対する考え方も変わりました。ジオパークの取り組みは、今後の社会をより良くするためのものかもしれないというところに、ふっと落ち着いたのです。



私自身、ジオカフェに参加したり、他のガイドさんと一緒に活動したりする中で、視野が広がったり物の見方が変わったりしました。それだけでもとても有意義でしたが、さらに今度は、このまちで子育てができる。本当にラッキー！と思っています。ジオパーク的な見方を育ててくれる大自然の材料と小学生の頃からその機会があること、これからの社会をより良くしていこうと考える大人が身近にいること、これらはジオパークで育児をすることのラッキーの1つだと思います。

今は毎日とにかく、このやっかいなもうすぐ2歳児をいかに機嫌よく過ごさせるかで手一杯…。しかし、一ガイドとしても親としても「持続可能な社会を目指す」というソウルを持っているのといないのでは違ってくると思っています。そして何よりも息子に、少しでも「これからの社会を皆がより優しい気持ちで生きられるための何か」を、このMine秋吉台ジオパークで感じてもらえたらなと思っています。

※写真撮影年月：平成26年5月～令和2年2月



11 住み続けられるまちづくりを

